**SAKIGAKE vol.3 伊達家の「縁」**

**400年の時を超えて守り継ぐ　伊達な絆**

　旧岩出山町を見下ろす城山。この地は、かつて伊達政宗公が岩出山に居城した場所です。

　今から４２８年前、25歳のときに米沢城から岩出山城に移り住んだ政宗は、この地から一体何を見つめていたのでしょうか。

　仙台に居城を移すまでの12年間、政宗が岩出山で過ごしたことや、その後の岩出山伊達家の発展は、現代のわたしたちに確かな「縁」をつないでいます。

　伊達家をゆかりとして、特に、大崎市・愛媛県宇和島市・北海道当別町の3市町は、強い絆で結ばれています。

　平成11年から姉妹都市盟約を結ぶ愛媛県宇和島市は、政宗の長男 秀宗が「宇和島伊達家」として別家を興した土地です。秀宗は、政宗が岩出山を居城とした年に生まれ、人質として4歳のときに豊臣秀吉に謁するまで、岩出山城で過ごしました。

　その後、徳川家の人質となった秀宗。24歳のとき、「大阪冬の陣」での功績が徳川家に認められ、「宇和島伊達家」初代藩主となりました。

　仙台藩は、正室の子である次男 忠宗が政宗の跡を継ぎ、岩出山城は四男 宗泰に与えられ、「岩出山伊達家」が成立しました。

　時代は流れ、明治維新後。岩出山伊達家の第十代 邦直は戊辰戦争で敗れ、所領を没収されます。邦直は、士分をはく奪された家臣を案じ、生まれ育った岩出山の地に残るべきか、新政府が進める北海道開拓に乗り出すか、決断を迫られました。

　明治4年、邦直は私財を処分して得た資金を使い、家臣ら約１８０人とともに北海道開拓に乗り出します。

　北海道石狩平野（現在の当別町）を開拓したことが「縁」となり、平成12年、当別町と旧岩出山町の絆が、姉妹都市として結ばれるのです。

　3市町のつながりは、まさに「伊達な絆」となって、平成・令和の時代に受け継がれています。

　東日本大震災では、宇和島市から、給水車や救援物資をいち早く提供いただいたり、震災直後から停止した本市ウェブサイトに代わり、当別町ウェブサイトが本市の情報を発信していただくなど、多くの支援をいただきました。

　また、昨年発生した西日本豪雨では、宇和島市が甚大な被害を受け、本市から職員派遣、支援物資・災害支援金の送付などを行っています。

　7月には、市民同士が交流を深めることを目的に「大崎市民親善訪問団」を結成。市民20人が宇和島市を訪問し、「牛鬼まつり」の見学や交流会で親交を深めました。

　姉妹都市盟約は、今年宇和島市と、来年は当別町と20周年を迎えることから、令和元年9月7日「伊達な絆 交流宣言」への調印を執り行いました。

　政宗、そして岩出山伊達家を縁として結んだこの絆。10年先、１００年先にはどんな発展が待っているでしょう。政宗が見つめた大崎耕土と、伊達な絆を、後世にわたって輝かせていきたいものです。

写真：「伊達な絆交流宣言」に調印し、握手を交わす3市町長（上）、宇和島市との姉妹都市盟約20周年を記念した「大崎市民親善訪問団」（中）、宇和島名物「牛鬼」は、9月8日「政宗公まつり」でも披露されました（下）

**あ・ら・伊達な道の駅で販売中！**

写真：大崎市のデリシャストマト・宇和島市のブラッドオレンジ・当別町の大豆を掛け合わせた「あ・ら・伊達な関係 伊達な姉妹都市エール」（左）、当別町にチョコレート工場がある「ロイズ」。岩出山産の梅とコラボレーションしたトリュフも販売中です（右）